

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2012-515075(P2012-515075A)

【公表日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-026

【出願番号】特願2011-545634(P2011-545634)

【国際特許分類】

B 01 D	69/00	(2006.01)
B 01 D	71/68	(2006.01)
B 01 D	71/16	(2006.01)
B 01 D	71/14	(2006.01)
B 01 D	71/34	(2006.01)
B 01 D	71/26	(2006.01)
B 01 D	71/36	(2006.01)
B 01 D	71/56	(2006.01)
B 01 D	71/44	(2006.01)
B 01 D	71/52	(2006.01)
B 01 D	71/32	(2006.01)
B 01 D	71/12	(2006.01)
B 01 D	71/38	(2006.01)
B 01 D	71/20	(2006.01)
B 01 D	71/08	(2006.01)
B 01 D	69/12	(2006.01)

【F I】

B 01 D	69/00	5 0 0
B 01 D	71/68	
B 01 D	71/16	
B 01 D	71/14	
B 01 D	71/34	
B 01 D	71/26	
B 01 D	71/36	
B 01 D	71/56	
B 01 D	71/44	
B 01 D	71/52	
B 01 D	71/32	
B 01 D	71/12	
B 01 D	71/38	
B 01 D	71/20	
B 01 D	71/08	
B 01 D	69/12	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年4月22日(2014.4.22)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

適切な量のポリマーが、溶媒中に溶解したまたは分散した状態で存在する。修飾ポリマーの濃度および引き続く電子線照射のパラメーターの適切な調節が、調節可能に変化した浸透性を有する膜を製造するために、本発明の方法において用いられることができる。処理によって、浸透性が90%以下、より好ましくは50%以下、および最も好ましくは10%以下低減されることが、特に好ましい。本発明の文脈において、浸透性は標準差圧 (standardized differential pressure) 下において単位膜面積あたりの 20 での膜を通じて流れる水の体積であり、リットル / (時間・平方メートル・バール) で報告される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0032

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0032】

本発明の方法は、実質的に孔質な出発膜の実質的に全ての表面（つまり、壁面内部の孔を含む）を、修飾ポリマーで被覆する。好ましくは、膜の内部および外部表面は、プロセスにおいて、浸透性が90%以下、好ましくは50%以下、および最も好ましくは10%以下低減されるように、修飾される。